ランプ交換のしかた ⚠注意 電源を切ってください。 感電の原因になります。

⚠注意

■ランプのガラス、口金部分を強くねじらない
ガラスの破損によりけがの原因
■器具表示の指定W(ワット)数を超えるランプは使用しない。
過熱して火災の原因
■ランプに塗料などを塗らない。
ランプが過熱、破損してけがの原因
■点灯中及び消灯直後のランプは触らない。
高温のためやけどの原因
■使用済みランプは不用意に割らない。
ガラスの破片が飛散しけがの原因
■カバーを真っ直ぐに取付ける。
斜め取付け・不完全な取付けは、落下・感電の原因

<ランプの取外しかた>

(1) カバーの下面から手を入れて、ランプを反時計方向へ回してソケットから外してください。

<ランプの取付けかた>

(1) ランプをカバーの下面から入れて、ソケットにねじ込んでください。

お手入れのしかた ⚠注意 電源を切ってください。 感電の原因になります。

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。
安全にご使用いただくために、半年に1回の保守・点検をおこなってください。

⚠警告 器具・ランプを水洗いしない。 感電・火災の原因

仕様

形　名	定格電圧	消費電力	適合ランプ	口 金
WLF5031EL WLF5041EL	100V	13W 消灯時(0. 3W)	13W形電球形蛍光灯 (EFD15EL/13－E17東芝製ネオボールZ)	E17

保証とアフターサービス

○修理・取扱いのご相談は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合は、別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」で、
・修理のお問合わせは「修理窓口」へ
・その他のお問合わせは「ご相談窓口」へ

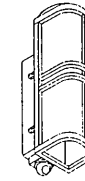
■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、
また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
神奈川県鎌倉市大船2－14－40
TEL(0467)41－2729
(商品企画センター)

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

蛍光灯ブラケット(防雨形)

形名 WLF5031EL(人感センサ)
WLF5041EL(人感センサ)

取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。

保管用

お客さまへ

■ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくためこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの取扱説明書を使用者さまにお渡しください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

■お客さま自身で分解・改造はしない
火災・感電の原因
■異常時は電源スイッチを切る
煙がでたり、変な臭いがしたら、すぐスイッチを切る 火災・感電の原因
■布や紙など燃えやすいものをかぶせない
火災の原因
■金属やごみを差し込まない
器具のすきまやソケット部にヘアピンや針金・可燃物などを差し込まない 火災・感電の原因

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■高温(40℃以上)な場所で使わない
落下・感電・火災の原因
■引火する危険の雰囲気で使わない
可燃性スプレーを吹き掛けない 火災の原因
■電気工事はしない
有資格者に取付けを依頼
■長時間使わないときは電源を切る
感電・火災の原因

事前にご確認ください

●必ず壁スイッチのあるところに取付けてください。(調光器付の壁スイッチは使用になれません。)
●1つの壁スイッチには、1台でご使用ください。(2台以上取付けると、同時に連続点灯に切替らない場合があります。)
●表示灯付スイッチと組合せて使用すると、センサが誤動作する場合があります。
●センサの動作が多く、ランプの点滅が多い場所(トイレや人通りの多い場所など)に使用しますとランプの短寿命の原因となります。

この器具の使いかた 用途に合わせて設定を行ってください。

お買い求めの器具は、3つの点灯時間を選んで使用することができます。

昼間は消灯→周囲が暗くなって人が近づいたときのみ100%の明るさで点灯

短 ▶ 人がいなくなると**約30秒**後に消灯
中 ▶ 人がいなくなると**約60秒**後に消灯
長 ▶ 人がいなくなると**約180秒**後に消灯

4ページへ

連続点灯8時間切替え機能 ▶ 4ページへ
人がいなくても8時間、100%の明るさで点灯→8時間後に上記で選択した設定モードへ切替ります

施工説明書

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

■施工に関しては内線規定・電気設備の技術基準に従ってください
■取付面に凹凸がある場合は、電源線引込み口から水が入らないようパテなどをつめて取付ける
凹凸のままの場合は、絶縁不良により感電・火災の原因

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

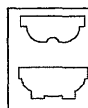
■高温(40℃以上)な場所で使わない
落下・感電・火災の原因
■強い振動・衝撃のある場所で使わない
器具破損により落下の原因
■電源は交流１００Ｖ以外で使わない。
火災の原因
■ドアの開閉で当たる部分に照明器具を取付けない
破損して落下の原因
■風呂場など湿気の多い場所では使わない
火災・感電の原因
■調光器との併用はしない。
火災の原因

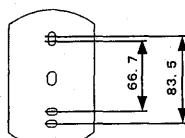
各部のなまえ

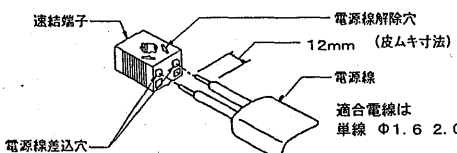
附属品

カバー・ランプの取付けかた

1. カバーを本体にかぶせ、袋ナット4個で確実に固定してください。
2. 下面よりランプをソケットにねじ込んでください。

⚠注意
■カバーを真っ直ぐに取付ける。
斜め取付け・不完全な取付けは、落下・感電の原因

電気工事 ⚠注意 電源を切ってください 感電の原因

1．電源線をパッキンと本体の中央の穴に通してください。
2．附属の木ねじ２本と絶縁座金２個でパッキンと本体を壁のしっかりと補強された部分に取付けてください。

⚠注意
■板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。
落下の原因
■指定方向以外の向きに器具を取付けない。
落下・感電・火災の原因

3．速結端子に電源線を接続してください。

● EM（エコマテリアル）ケーブルを電源電線にご使用の場合

絶縁体の補修処理方法例

■ポリエチレン系絶縁体を使用したEM（エコマテリアル）ケーブルをご使用された場合には、端末部付近の絶縁体露出部をテープなどで覆い保護を施してください。
感電・火災の原因

備考：EMケーブル（EM−EEF）＝600Vポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル平形

4．アース工事を確実に行ってください。

⚠警告
■電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。
接続不良による発熱で火災の原因
■指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし１本ずつ速結端子の奥まで差込む。
差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因
■アース工事を確実に行う。
不完全な場合、感電の原因

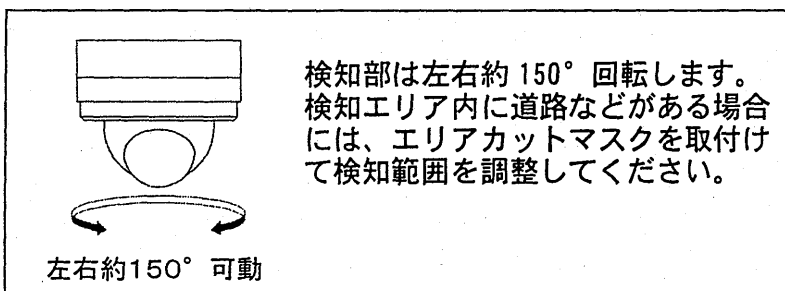
修理を依頼される前に

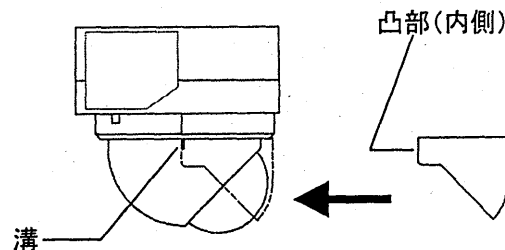
●センサ検知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。
●正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして（4秒以上）再びONにしてください

現象	考えられる原因	処置
検知範囲に人がいるのに１００％の明るさで点灯しない	壁スイッチがＯＦＦになっている	壁スイッチをＯＮにする
	ランプが切れている	ランプを交換する（Ｐ６参照）
	点灯照度設定レバーで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯照度設定レバーにて設定を変更する（Ｐ３参照）
	人が静止している	静止している人では検知できません
検知範囲が狭い	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する（検知部を動かす）（Ｐ３参照）
	検知部がよごれていたり蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようにふきとる
	器具に向かって真っ直ぐ接近している	検知部を少し傾けて使用する（器具に向かって真っ直ぐに接近した 場合はより近づかないと検知しない 場合があります）
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります（正常動作）
	暑い日などに周囲温度と人体の温度差がすくない	
検知範囲に人がいないのに１００％点灯している ※２秒以内の停電により連続点灯になることがまれにありますが、異常ではありません	検知範囲内に人以外の熱源がある（例）白熱灯照明器具・エアコンの吹き出し口・風などでよく揺れるもの（植木、旗など）・車の熱やヘッドライト・犬や猫などの動物・強い風、雨、雷	本センサは温度変化を検知するため左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります（正常動作）
	壁スイッチをＯＮした直後又は停電が回復した直後	壁スイッチＯＮ後、約４５秒間は必ず点灯します（正常動作）
	連続点灯になっている	壁スイッチＯＦＦにして（４秒以上）再びＯＮにする
人がいなくなってもなかなか消灯に戻らない	連続点灯になっている	壁スイッチをＯＦＦにして（４秒以上）再びＯＮにする
周囲が明るいのに１００％点灯する	連続点灯になっている	壁スイッチをＯＦＦにして（４秒以上）再びＯＮにする
	点灯照度設定レバーが「テスト」になっている	レバーを「暗」又は「明」に合わせる（Ｐ３参照）
連続点灯に切替えができない	連続点灯切替え操作が間違っている	連続点灯８時間切替え機能を使用する時（Ｐ４）をご確認ください
連続点灯が解除されている	連続点灯継続時間が８時間を超えた	連続点灯は最長８時間です

検知範囲について

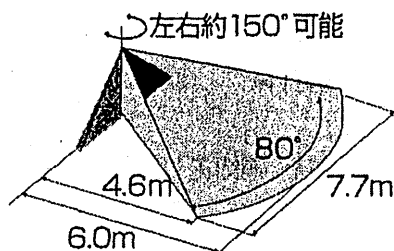
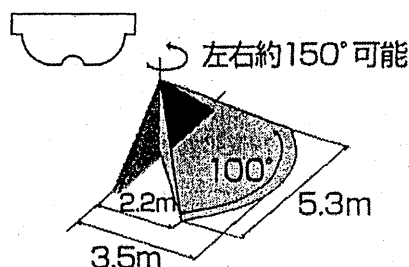
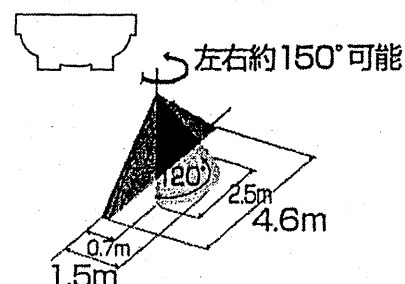
●検知部を動かすことによって検知範囲を変えることができます。
●検知範囲は下図のような範囲で調整できます。
●検知部を動かしてお好みの検知範囲を設定してください。
●エリアカットマスクを使用し、検知範囲を限定させることができます。
状況に合わせてお使いください。

検知部は左右約 150° 回転します。検知エリア内に道路などがある場合には、エリアカットマスクを取付けて検知範囲を調整してください。

エリアカットマスクA，Bの取付方法

エリアカットマスク内側の凸部をセンサ検知部側面にある溝にはめ込む

エリアカットマスクを取付けることにより検知エリアを狭くすることができます。

検知範囲図（目安）

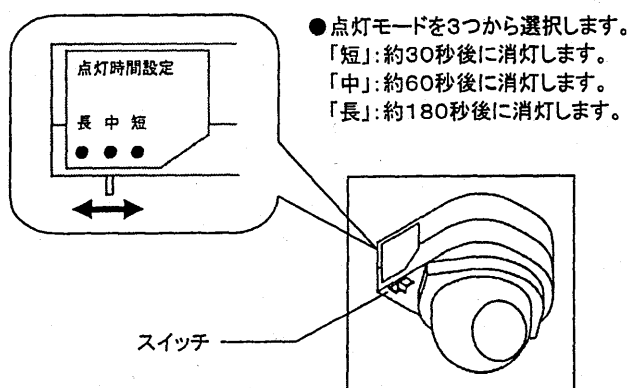
●エリアカットマスク無し
（取付け高さ2. 0m）

左右約150°可能
80°
4.6m
7.7m
6.0m

●エリアカットマスクA使用時
（取付け高さ2. 0m）

●エリアカットマスクB使用時
（取付け高さ2. 0m）

故障ではありません

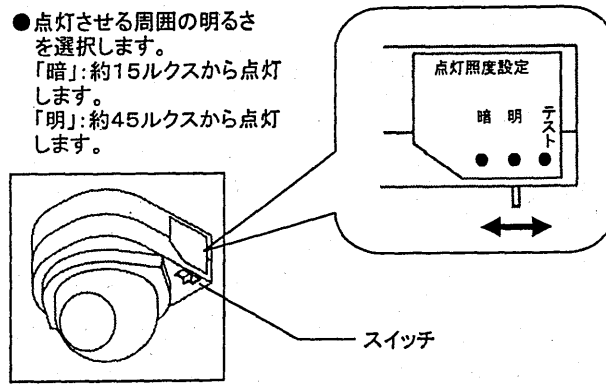
注）本センサは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源（動物・車など）が移動したときも検知する場合があります。
注）検知範囲は目安です。下記の様な場所では検知範囲が変化します。
●検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、人の温度、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより変化します。
●夏場など気温が体温に近い温度になると温度変化分が小さくなり、検知範囲は小さくなります。
また、雨の日も検知範囲が小さくなる場合があります。
●器具に向かってまっすぐに接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。

センサの設定レバー（スイッチ）について

点灯時間設定レバー（スイッチ）

●点灯モードを3つから選択します。
「短」：約30秒後に消灯します。
「中」：約60秒後に消灯します。
「長」：約180秒後に消灯します。

出荷時は「短」に設定してあります。

点灯照度設定レバー（スイッチ）

●点灯させる周囲の明るさを選択します。
「暗」：約15ルクスから点灯します。
「明」：約45ルクスから点灯します。

出荷時は「暗」に設定してあります。

ON／OFFモードで使用する時

1．壁スイッチをOFFにしてください。
2．点灯時間設定レバーにてお好みの点灯時間を設定してください。
3．点灯照度を設定レバーで合わせ、センサの働き始める周りの明るさを決めてください。

昼間などの明るい時
消灯

人がいなくなって点灯時間を過ぎると
消灯

点灯時間設定レバーにて、点灯時間を3段階で設定できます。

使い勝手に応じてレバーを「短」・「中」・「長」の位置に合わせてください。

長　中　短
点灯時間設定レバー

周囲が暗くなると
消灯

人が検知範囲に入ると
100%の明るさで点灯

センサがはたらき始める周りの明るさを2段階で設定できます。
「明」位置にすると、薄暗くなると動作するようになります。

環境によって動作状況が変わりますので状況に応じてレバーを「明」・「暗」どちらかの位置に合わせてください。

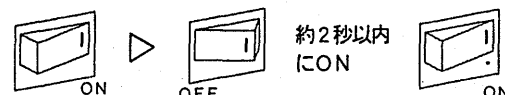
「テスト」にした場合は周囲が明るくても、人を検知し点灯します。明るい状態でも点灯させたい時、検知エリア確認及びエリアカットマスク調整の際にご利用ください。

暗　明　テスト
点灯照度設定レバー

4．壁スイッチをONにしてください。
注）壁スイッチをONにした直後（約45秒）は、周囲の明るさに関係なくランプが点灯しますが異常ではありません。
注）壁スイッチは常にONにした状態でご使用ください。

連続点灯8時間切替え機能を使用する時

●壁スイッチで切り替えます。
1．ONの状態から
2．すばやく（2秒以内）ON→OFF→ONにすると連続点灯になります

ON　▷　OFF　約2秒以内にON　ON

●周囲の明るさに関わらず、約8時間で、もとの設定モードに切替わります。
●連続点灯8時間中に再度上記のスイッチ操作を行うと、その時点から再び約8時間点灯します。

すぐに連続8時間点灯をやめたいときは、壁スイッチを4秒以上OFFにしてください。
その後、壁スイッチをONすれば、設定モードに切替わります。

OFF